

施策評価票

## 第6章 人を育むまち

- |       |                  |
|-------|------------------|
| 施策目標1 | 豊かな人生を送れる生涯学習の推進 |
| 施策目標2 | 幼児教育の充実          |
| 施策目標3 | 学校教育の充実          |
| 施策目標4 | 家庭と地域で育む教育の推進    |
| 施策目標5 | 社会教育の充実と活性化      |
| 施策目標6 | 元気あふれる市民スポーツの振興  |

進捗状況

A・・・順調／B・・・おおむね順調／C・・・やや遅れている／D・・・遅れている／E・・・未実施

施策目標1 豊かな人生を送れる生涯学習の推進

全ての市民が生涯にわたって自己実現を目指し学び続けられる環境づくりと、その成果を地域社会の中で発揮していくことができる仕組みづくりを進めるため、市民一人一人が、一層、学習活動に取り組むことのできるよう、社会教育計画及び生涯学習推進プランに基づき、学習機会の拡充や学習環境の整備、情報の発信等を推進します。

また、囲碁を通じて人と人とのコミュニケーションを深め、心豊かに生きることが出来るまちづくりを進めるため、囲碁の普及啓発活動、各種大会やイベントの開催などによりアルプス囲碁村づくりを推進します。

【生涯各期にわたる学習機会の充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
ライフステージに応じた学習機会の充実	○乳幼児期から高齢期の段階に合わせた学習機会の提供と教育機能の充実	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「がったつうしん」を年4回発行し子どもたちやその保護者へ市内外の施設、団体等の体験学習情報を提供している。</li> <li>◆未就園児の親子を対象とした全18回のカリキュラムによる親子教室の開催。</li> <li>◆未満児コアラ・就学前パンダクラブ、保育園から12年間を見据えた体づくりの元気アップ事業、小中一貫教育ステップ・ジャンプ期を対象に自然体験教室、長期休みのお手伝いし隊、地域子育てセミナー、ヨガ教室、高齢者学級などさらに取り組んで行く必要がある。</li> </ul>	B

【市民の学習ニーズに応える学習機会の提供】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
豊かな人生を送れるための学習支援	○市民が自発的に行う学習機会の充実	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公民館ではサークル活動が活発に行われており、講座からのサークルへの移行もあるが、既存サークルでは会員の高齢化もあり、休止、廃止になるケースもある。サークル1日体験などを通じてサ</li> </ul>	B

		<p>ークルの活性化を図る。 ◆公民館役員会において地域住民の声を聞いて実践に結び付けるよう今後とも取り組んで行く必要がある。</p>	
<p>社会変化に対応した学習機会の充実</p>	<p>○県、近隣市町村、各種教育機関との連携による専門的な学習機会の充実 ○社会変化や時代潮流に応じた学習機会の充実</p>	<p>◆育成会や子どもたちの行事を中心に市内教育機関との連携が行われている。 ◆公民館活動では近隣市町村で連携し、館長・主事会、公民館大会など地域の特徴的な事例の発表や体験を通して学習し関心を深めていただく取り組みを実施。 ◆1回、大北管内公民館持ち回りによる大北公民館大会の実施。 地域の特徴ある活動等の発表や体験学習等を行い生涯学習に関心を深める。 ◆コケ玉教室など開催 ◆大学・文化財センター・山岳博物館・エネ博・図書館など専門機関の学芸員などを今後とも派遣していただき各種行事に取り組んで行く必要がある。</p>	<p>B</p>

【生涯学習推進体制の整備・充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
<p>学習施設の充実と活用</p>	<p>○地域学習活動の拠点施設の充実と活用</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>各地域の公民館分館や集会所施設への新築、改築、大規模修繕へ補助金を交付している。本年度は5公民館施設へ修繕費用の助成を行った。今後も下水道接続や耐震改修に伴う修繕等が予想され、継続して支援を行う。</p>	<p>A (H25：B)</p>
<p>情報提供の充実</p>	<p>○学習情報の積極的な提供 ◆学習情報誌の充実</p>		<p>「がったつうしん」やホームページにより積極的に情報提供を行っている。</p>	<p>A (H25：B)</p>

<p>生涯学習グループの育成と支援</p>	<p>○生涯学習を実施するグループや団体の育成と支援</p>	<p>◆各施設では利用団体が多い場合、利用調整会議を行い、定期的な施設利用の支援を行っている。H26 年度には、予約システムを稼働し、利用申込の負担を軽減できるよう対応する。</p> <p>◆利用団体によっては、会員の高齢化によりサークルの継続が困難で、休止、解散となる団体もあり、サークル1日体験等を通じて新規加入者獲得の支援を行う。</p> <p>◆公民館役員会、体育連絡会、文化連絡会などで情報交換できるよう取り組む必要がある。</p>	<p>A (H25:B)</p>
<p>指導者の育成</p>	<p>○地域の優れた知識技能を持つ人材の発掘と、学習指導者としての育成</p> <p>○地域ボランティアなどの育成</p> <p>○リーダーバンク制度の活用の推進</p>	<p>◆生涯学習リーダーバンクを設置し、様々な団体からの要望に対応できるよう取り組んでいるが、H26 年度には更新時期となるため、指導分野の細分化など改定を行い、広く様々な分野の登録をいただくよう取り組む。</p> <p>◆お手伝いし隊など子供の時から、福祉施設利用者との交流などでボランティア意識向上を図る必要がある。</p>	<p>B (H25:C)</p>
<p>学習成果の活用</p>	<p>○学習成果の発表等、情報提供の推進</p>	<p>◆芸術作品等の展示会場として、ギャラリー・いーずらを貸し出ししている。例年利用いただく団体も多いが、会場の規模等で要望をいただくこともあり、文化会館展示室も含めて発表の場を提供していきたい。ギャラリーにおいて開催される催しについては、原則広報へ掲載し市民への情報提供を行っている。</p> <p>◆地区文化祭を小中一貫校教育の成果発表も併せ学校・ふるさと美麻会・地域</p>	<p>B</p>

			づくり会議などと連携し開催。	
総合的な推進体制の強化	○市民や地域、学校、各種団体、民間事業者等と連携した推進体制の強化		◆生涯学習のまちづくり推進本部会議を開催し、第4次生涯学習推進プラン策定等についても協議いただいた。今後は第4次プランに沿った取り組みを行っていく。 ◆自治会、学校、地域づくり会議、地区社協、子ども会育成協議会、子どもの安全を守る地域連絡会などと連携して各種行事などを開催していく必要がある。	B (H25:C)

【アルプス囲碁村づくり】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
アルプス囲碁村づくり	○アルプス囲碁村計画に基づく各種大会・イベントの開催と支援 ○子どもたちを対象とした囲碁の普及啓発活動の推進 ◆今後の推進方法と体制の検討 ◆囲碁を通じた交流と人づくり	企画財政課	囲碁普及員による普及啓発活動及び囲碁村まつり等によるイベント・交流会事業を柱に囲碁による人づくり、まちづくりに取り組んでいる。	B

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H25 数値	課題等
生涯学習リーダーバンク登録者数	130人	140人	生涯学習課	100人	分野の見直し
囲碁普及員による囲碁指導受講者数	7,002人	10,000人	企画財政課	4,623人	少子化による児童・園児総数の減少 園児から児童への継続的な普及活動

□市民意識調査

調 査 項 目	基準値	目標値
生涯学習の場や機会の充実に満足していると思う市民の割合	68.1%	80.0%

## ◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
アルプス囲碁村推進事業	12136	アルプス囲碁村推進事業	企画財政課
—	110111	教育委員会費	学校教育課
山村留学運営事業	110128	山村留学事業	生涯学習課
—	15122	勤労者福祉施設運営管理事業	生涯学習課
—	110412	社会教育総務一般経費	生涯学習課
—	110413	社会教育施設運営管理費	生涯学習課
大町エネルギー博物館管理運営費補助金	110414	エネルギー博物館運営費助成事業	生涯学習課
—	110415	公民館分館整備助成事業	生涯学習課
—	110416	生涯学習推進事業	生涯学習課
—	110422	青少年育成事業	生涯学習課
—	110433 ほか	大町公民館活動費 ほか	生涯学習課

## 施策目標2 幼児教育の充実

近年、発達障がい児の増加や子どもへの虐待、育児放棄などが社会問題となっています。

そのため、保健、医療、福祉分野や幼稚園、保育園との連携により、次世代を担う子どもたちを守り育て支援する子育てネットワークの構築など、幼児教育の充実に向けた環境整備を推進します。

### 【教育環境の整備】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
相談事業の充実	○保健、医療、福祉等との連携による発達障がい等の育児・幼児教育相談の充実	学校教育課	就学相談やケース会議を中心として、よりきめの細かい相談体制の充実に取り組んでいる。	A
		子育て支援課	幼稚園、小中学校も含めた、発達障がい巡回相談を市内22か所で実施。専門スタッフが、保育士や保護者の相談に応じている	B (H25:A)
就園支援の充実	○幼稚園児保護者の負担軽減の支援	学校教育課	文部科学省の幼稚園市就園奨励費補助金交付要綱に基づき補助金を交付している	A
幼稚園・保育園・認定子ども園の役割と連携	○幼稚園、保育園、認定子ども園の役割と連携の検討	学校教育課	幼稚園・保育園懇談会を開催し、情報交換と連携等のを検討している。	B (H25:C)
		子育て支援課	26年度から幼稚園に関する総合窓口を子育て支援課に一元化するとともに、新制度施行に合わせ、市内3幼稚園との懇談会を随時開催することで連携強化を図る。	C (H25:B)

### 【幼稚園の充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
幼稚園経営への支援	○幼稚園を経営する法人等への助成	学校教育課	幼児教育の振興を図るため私立学校法の規定による学校法人が設置する幼稚	A

		園に対し補助金を市の要綱に基づき交付している。	
--	--	-------------------------	--

 市民意識調査（再掲）

調査項目	基準値	目標値
保育などの子育て支援サービスに満足していると思う市民の割合	59.5%	75.0%

## ◇ 施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
幼稚園就園奨励費補助事業	110124	私立教育助成事業	学校教育課

### 施策目標3 学校教育の充実

少子高齢社会の進行と、国際化、高度情報化の進展など、社会情勢の変化とともに、学力・体力の向上、不登校児童・生徒への支援、心身に障害を持つ児童生徒に対する特別支援体制の充実などが課題となっています。

新学習指導要領基本理念の生きる力を育むに基づき、知識や技能の習得と、思考力・判断力の育成、道徳や体育の充実による豊かな心と健やかな体の育成に向けた取り組みを進めます。

大町高校と大町北高校の統合に向け、魅力ある高校づくりが進められるよう、地域からの意見集約に努めるほか、少子化を見据えた学校運営の将来ビジョンについても検討を進めます。

#### 【学ぶ力の育成】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
基礎学力の定着と学力・体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導の充実</li> <li>◆30人規模学級、少人数による学習集団指導、習熟度別学習、チームティーチング等の推進</li> <li>◆基礎学力を向上させる取り組みの推進</li> <li>◆社会性の確立と基礎体力向上の推進</li> </ul>	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆少人数指導のさらなる工夫改善が必要である。</li> <li>◆中学校にも30人規模学級を取り入れ、小・中すべての学校で少人数による指導が実現。</li> <li>◆すべての学校で全国学力テストを実施するなど、子どもの実態の正確な把握のもと、指導改善を実施し、全国と比較しても良好な結果である。</li> <li>◆全国と比較して、体力の低下が懸念されるため、生活習慣の改善や、大学と連携した元気アップ事業をモデルとした取り組みを一層推進する。また、すべての学校で体力テストを実施し、継続的にデータをチェック、検証しながら、課題にあった体力づくりを実施する。</li> </ul>	B
時代の変化に対応した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報教育の充実と推進</li> <li>○外国語指導助手の配置・派遣</li> <li>○小中学校の国際交流の推進</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆情報モラルへの指導がさらに必要である</li> <li>◆拠点となる市内中学校2校にALTを</li> </ul>	B

		<p>2名ずつ配置し、小学校の外国語活動にも派遣している。</p> <p>◆美麻小中以外での活動は、進展していない。</p> <p>(美麻)メンドシーノとの国際交流をさらに推進する。</p>	
<p>地域を担う人材の育成</p>	<p>○福祉、環境、奉仕活動、職場体験などによる職業体験学習の推進</p>	<p>職場体験受入先の発掘等拡充が必要であり、市全体として、推進する体制を昨年度構築し、今後さらなる推進を図る。</p>	<p><b>B</b> (H25:C)</p>
<p>特色ある学校づくり</p>	<p>○あいうえおおまちさくらプランの実践</p> <p>○問題解決学習を中核においた総合学習の推進</p> <p>○地域との交流、郷土の自然・文化を素材とした学習を通じ郷土理解と郷土愛の醸成</p> <p>○山村留学生との交流による、郷土の魅力を発見する教育の推進</p> <p>○学校を核とした特色ある地域づくりの推進</p>	<p>◆地域あげての取り組みとさらなる推進、拡充を図るため、新たに「きらりおおまちサンプラン」を策定、市全体の取組として推進を図る。</p> <p>◆学年または学級毎に学習の柱を立て実践。また、美麻小中の小中一貫教育への移行など、特色を生かした取り組みが進められ、総合的な学習に地域との連携が進んでいる。</p> <p>◆受入農家の減少という課題もあるが、地域一体となって取り組みを進めている。</p> <p>◆学校、保護者、地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールの導入を推進し、地域とともにある学校づくりを進めている。</p> <p>◆学校ごと、お米作りや伝統工芸など、地域に根ざした学習を取り入れている。</p>	<p><b>A</b> (H25:B)</p>

## 【豊かな心と健やかな体を育む教育の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
不登校等の悩みを抱える子どもへの支援	<p>○さまざまな悩みや課題について早期発見と早期対応に向けたスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と福祉等の関係機関との連携強化</p> <p>○学校が一丸となった課題の解決と、家庭と地域が連携した指導の推進</p> <p>○登校支援指導員・小中学校への心の教室相談員の配置による就学支援に向けた取り組みの推進</p> <p>○アルプスの家への適応指導員の配置による支援体制の充実</p>	学校教育課	<p>◆スクールカウンセラー2名を配置し、定期的に市内小中学校を訪問して、さまざまな悩みや課題に対応している。</p> <p>◆全教職員が情報を共有しながら連携して指導に当たっている。</p> <p>◆家庭へも入り込んだ細やかな支援に取り組んでいる。</p> <p>◆個別指導を原則に、個に応じた支援体制が組まれている。</p>	A
道徳教育・人権教育の推進	<p>○いじめ等の根絶に向けた取り組みの強化</p> <p>◆道徳的な心情・判断力・実践意欲など道徳性の醸成</p> <p>○人権や男女共同参画の視点での意識啓発</p>		<p>◆学校を基点に地域を巻き込んでの人権教育を実施している。</p> <p>◆児童・生徒たちが自らいじめ根絶に向けた取り組みを実施している。</p> <p>◆地区人権を考える市民の集いを学校で開催することにより意識の向上が図られている。</p>	A
病弱児童生徒への教育	<p>○病弱児童生徒の院内学級の対応</p>		<p>対象児童生徒がいないため閉鎖</p>	—
学校給食の充実	<p>◆学校給食における食育、地場産物の活用及び給食の安全・安心・安定の確保の推進</p>		<p>◆栄養教諭も加わった食育指導の充実を図っている。</p> <p>◆市独自による給食用食材放射性物質検査による給食の安全を図っている。</p> <p>◆地産地消の取り組みが遅れており、農林水産課等関係機関との検討を進める。</p>	B (H25:A)

【多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
特別支援教育体制の充実	○心身に障がいを持つ児童生徒に対する特別支援体制の整備 ○教職員の確保と指導力の向上	学校教育課	特別支援教育補助指導員の配置等、特別支援学級の充実によって、個に応じた支援体制が組めてきた。	B
心身障がい児就学相談の充実	◆関係課と連携した発達障がい児の早期発見 ○就学相談委員会の充実		子育て支援課との連携や専門家による巡回相談や就学相談の充実によって、早期発見・早期療育への体制が整ってきている。	A (H25:B)
外国籍児童生徒に対する教育の充実	○外国籍児童生徒に対する日本語指導の充実		対象となる児童生徒数が無く、教室の開設、指導員の配置は難しいが、必要に応じて、通訳ボランティアを依頼し、対応している。	C

【地域に開かれた学校づくり】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
学校・家庭・地域の連携	○学社融合事業等の推進、地域に開かれた学校づくりの推進、学校、家庭、地域の連携強化	学校教育課	学校、保護者、地域が連携して学校運営に参加するコミュニティ・スクールの導入を美麻小中、八坂小・中で進めており、地域に開かれ、地域と一体となった学校づくりを一層推進する。	A (H25:B)

【教育環境の整備】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
施設の充実	○大町東小学校の耐震大規模改修の実施 ◆小中学校の体育館等大規模天井の耐震化の実施 ○小中学校施設改修の検討及び実施	学校教育課	◆東小学校耐震改修は昨年度完了。 ◆平成25年度から平成27年度までの3年間で、対象となる6校の体育館を計画的に実施中であるが、耐震化基準が昨年改正されたことに伴い、改修対象範囲が拡充され、事業費が膨らむことが想定される。	A (H25:B)

			◆小学校は特に老朽化が著しく、大規模な改修が必要であることから、改修計画の策定と財源確保を検討している。	
設備・機材の充実	○教育環境の充実を図るため設備、機材等の整備の推進		限られた予算の中で、補助事業の確保やリースなどを活用し、整備を推進する。	B
就学支援の充実	○就学費助成の実施		経済的理由により就学困難な状況に陥ることのないよう、関係機関と連携し就学援助事業を実施している。	A
通学の安全確保	◆おおまち子ども安心・安全マップの周知と活用 ○スクールバスの運行		◆ホームページでの公開等、周知・活用を進めるとともに、小学校区ごとの子どもの安全を守る地域連絡会の活動の継続による、関係機関が連携した取り組みを推進する。 また、道路管理者及び警察署と連携した「大町市通学路安全推進会議」を本年度設置し、合同点検等、継続した取り組みを進める。 ◆臨時運行など柔軟に対応し、安全な通学の確保に努めているが、収益性から運行事業者の確保が、今後は難しくなりそうである。 遠距離通学児童生徒の安全確保のため、登下校における通学手段の確保、課外活動・校外活動の充実を図るうえで必要不可欠である。	A (H25:B)

【高等教育の充実】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
魅力ある地域高校づくりの促進	○大町高校と大町北高校の再編統合における魅力ある高校づくりのための地域をあげた協力と支援 ○新たな高校が生徒の多様な夢や希望を叶え、幅広い人間形成を行	学校教育課	◆中高連携についての検討を始めており、中学生による体験入学や、市内中学との交流会など、開校に向けた取り組み	C

	える教育カリキュラムの実現		を始めている。 ◆キャリア教育を中心に、小・中・高が連携した教育カリキュラムの作成が必要である。	
就学支援の充実	○私立高等学校就学生徒への奨学助成の実施 ○高校、大学、専門学校等に就学する学生に対する奨学金制度の充実	学校教育課	◆保護者の経済的負担軽減のため、私立高校生奨学補助事業を実施している。 ◆市独自の奨学金制度を実施し、経済的な支援を実施している。	A

## ▼数値目標

目標項目	基準値	目標値	担当課	H25 数値	課題等
不登校の児童生徒の在籍率	0.97%	0.77%	学校教育課	1.03%	児童生徒数の減少に伴い率は高い。
小中学校の耐震化率	88.0%	100.0%	学校教育課	100.0%	H25 完了
大規模天井（小中学校非構造部材）の耐震化率	33.0%	100.0%	学校教育課	55.0%	H27 完了予定

## □市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
学校教育環境に満足していると思う市民の割合	70.0%	80.0%
地域に向け開かれ、地域と連携した学校運営がなされていると思う市民の割合	62.9%	75.0%

## ◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
中学校英語指導助手（ALT）配置事業	110321	中学校振興一般経費	学校教育課
学習支援員等配置事業	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
中間教室指導員配置事業	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
総合教育相談員等配置事業	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
学校給食地産地消推進事業	110214	小学校負担金	学校教育課
	110313	中学校負担金	学校教育課

学校図書館図書整備事業	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
教育用コンピュータ整備事業	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
スクールバス運行委託事業（大町地区）	110223	スクールバス等運行事業	学校教育課
美麻スクールバス等運行事業	110223	スクールバス等運行事業	学校教育課
八坂スクールバス等運行事業	110223	スクールバス等運行事業	学校教育課
大町東小学校耐震及び大規模改修事業	110215	東小学校耐震改修事業	学校教育課
学校給食施設環境整備事業	110532	学校給食費	学校教育課
学校給食業務委託	110533	八坂小中学校給食費	学校教育課
小中学校非構造部材耐震化事業	110213	小学校施設営繕費	学校教育課
教員住宅整備事業	110125	教員住宅管理事業	学校教育課
小中学校プール改築事業	110213	小学校施設営繕費	学校教育課
	110312	中学校施設営繕費	学校教育課
—	110212	小学校管理一般経費	学校教育課
—	110311	中学校管理一般経費	学校教育課
信州型コミュニティスクール創造事業	115112	事務局一般経費	学校教育課
	115211	小学校管理一般経費	学校教育課

施策目標4 家庭と地域で育む教育の推進

近年は、家庭状況に応じた柔軟な支援が求められるとともに、少子化の進行に伴い、地域の行事等の縮小や存亡が危惧されるなど、子どもたちの多様な人々との交流や体験により育まれてきた地域社会との係わりが減少している傾向にあります。

そのため、将来を担う子どもたちの健全育成に向け、リーダーの育成と情報の発信、家庭と地域、学校、行政との連携により地域一体となって家庭における教育力の向上や、地域における支援体制の強化に向けた取り組みを推進します。

【家庭教育の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
家庭教育力の向上	○保護者に対する学習機会の充実、情報提供、相談体制や交流の場の整備	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆家庭教育懇談会を社地区の6会場で実施した。今後は他地区へ広げたい。</li> <li>◆長年に渡り、家庭教育懇談会を開催。懇談会におけるテーマの選択は課題。</li> <li>◆児童生徒の生活習慣の改善としての元気アップ事業の中で食についての必要性の料理教室、大学教授による体を動かすことの大切さを今後とも親子で体験していく必要がある。</li> </ul>	B
親子・家族がふれあう場や機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親子教室やふれあいイベントなどの充実</li> <li>○家庭の日の周知と取り組みの充実</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各公民館において親子教室を開催し、情報交換や子育て支援も含めて実施している。</li> <li>◆未就園児の親子のふれあいや親同士の交流や情報交換を目的に、親子教室を開催しているが、参加親子の減少が見受けられる。</li> <li>◆コアラ・パンダ教室に今後とも取り組んで行く必要がある。</li> </ul>	B

<p>家庭・学校・地域の連携による教育力の向上</p>	<p>○家庭、学校、地域の連携による環境づくりの推進 ○健康づくり、食習慣・生活のリズム等の向上をめざす食育の推進 ○地域行事や地域活動への参加促進等、地域ぐるみの支援体制の充実</p>	<p>生涯学習課 学校教育課</p>	<p>◆市内6地区で地域子育てセミナーを開催し、地域、家庭、学校と一緒に兼線育成や教育力向上の取り組みを行っている。毎年、参加者の興味を引く内容とすることに心がけている。 ◆地域ぐるみでの教育を進めるため、地域子育てセミナーを開催し、多種多様なカリキュラムを設けての開催のため、毎年100名程の親子の参加があり賑やかである。 ◆学校運営協議会に協力し、地域と共に歩む学校づくりを推進する必要がある。元気アッププロジェクトをさらに推進する必要がある。</p>	<p>B</p>
<p>人権、男女共同参画への意識啓発</p>	<p>○人権や男女共同参画の視点による意識啓発の促進</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>◆人権を守る市民の集いは、公民館だけの啓発から東小学校との合同での開催に変更し素晴らしい開催になった。 ◆人権を考える市民の集いは、6地区で開催しているが公民館だけの開催から学校との合同開催をする地区が増えたことにより地域と学校との連携が深まり意識の啓発が促進した。 ◆地区人権を考える市民の集いを、高齢者学級生並びに一般住民が一堂に会し学校で開催することにより意識の向上が図られる。</p>	<p>A (H25:B)</p>
		<p>企画財政課</p>	<p>様々な分野の講演会、学習会を各地区で開催しているが、公民館（生涯学習）との連携がなお一層必要。</p>	<p>B</p>

## 【地域ぐるみの青少年育成】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
健全育成体制の充実	<p>○青少年問題に対応する相談・推進体制の整備充実、青少年育成指導者や青少年リーダーの養成</p> <p>○子どもの安全を守る地域連絡会等地域ぐるみの活動の推進</p>		<p>◆少年、ジュニア、シニアリーダー研修会を開催し、大勢の参加がある。しかし、各地区においての発展へつながらない状況も見られる。リーダーの人材情報と活用を提供することも必要である。</p> <p>◆親子のふれあいや親同士の情報交換などを目的に、親子教室を開催し取り組んでいるが、年々参加親子が減ってきている。</p> <p>◆子ども会育成連絡協議会を組織して活動している。</p> <p>◆地区子ども会育成協議会の取組をさらに推進する必要がある。</p>	B
健全育成事業の充実	<p>○体験活動、感動体験、ボランティア活動や福祉活動、異年齢交流体験事業の推進</p> <p>○子ども会育成会等による健全育成事業の促進</p>	生涯学習課	<p>◆体験活動への支援として、育成会向けのバス利用「体験学習号」の運行を実施している。例年多くの利用者があるものの、新しい団体の利用が少ない。育成会総会において制度の広報を行い、モデルコースなども提示しながら利用を促し、体験活動の支援を行いたい。</p> <p>◆地域の育成会連絡協議会を組織している。</p> <p>◆子ども達の生きる力を付ける為に、自然体験学習等を開催しているが、本来の目的である自主的活動に結びついていない。</p> <p>中学生による奉仕活動は、毎年恒例行事として受け継がられている。</p> <p>◆元気アップ総合学習への協力、自然体験教室、伝統文化高齢者と児童生徒伝承</p>	B

		<p>交流、お手伝いし隊、みそづくり教室、メンドシーノ交流事業などさらに推進する必要がある。</p>	
<p>社会環境浄化活動の充実</p>	<p>○非行防止・環境浄化活動、街頭補導活動、啓発活動等の推進</p>	<p>◆補導委員を委嘱し、70回の街頭補導活移動を実施している。多くの方に参加いただいているが、各自治会からの選出に苦慮している。自治会推薦の限界も感じている。</p> <p>◆子どもたちの自主性を高めるため、小学生のリーダー研修会を実施しているが、地域で生かされるような結果につながっていない。</p> <p>◆各分野から構成される、地区子どもの安全を守る地域連絡会は今後とも必要である。</p> <p>◆各地域での日ごろの、登下校時間帯での見守り活動は継続する必要がある。</p>	<p>B</p>

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H25 数値	課題等
家庭教育懇談会開催地区数	7 地区	10 地区	生涯学習課	6 地区	
子ども体験学習号利用団体数	13 団体	20 団体	生涯学習課	13 団体	
ジュニア・シニアリーダー数	7 人	10 人	生涯学習課	7 人	

□市民意識調査

調 査 項 目	基準値	目標値
地域ぐるみで非行防止や青少年健全育成に取り組んでいると思う市民の割合	67.3%	75.0%

## ◇施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
—	110123	事務局一般経費	学校教育課
—	110221	小学校教育振興一般経費	学校教育課
—	110321	中学校教育振興一般経費	学校教育課
—	110532	学校給食費	学校教育課
—	110437 ほか	常盤公民館活動費 ほか	生涯学習課
—	110422	青少年育成事業	生涯学習課
—	110421	補導・環境浄化活動事業	生涯学習課
—	110432 ほか	大町公民館活動費 ほか	生涯学習課

施策目標5 社会教育の充実と活性化

職員の出張講座や公民館事業の充実などにより、多様化する市民ニーズに対応した学習機会の充実を図るとともに、図書館では、大町市子ども読書活動推進計画に基づく図書資料の充実をはじめ、高齢者の読書活動を支援するため、公民館活動と連携した出張講座の開設などの取り組みを推進します。

また、各種団体等との連携により、市民の社会教育活動を促進します。

【社会教育の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
多様な分野の学習活動の支援	○誰もが住み良い地域づくりをめざした多様な分野の学習機会の充実	生涯学習課	◆公民館講座では地域の特色や要望を取り入れた講座を開講している。 ◆いつでも、どこでも、だれでも自由に学習できる公民館事業を推進する必要がある。	B
新たな取り組みによる活性化	○社会教育施設、民間、各種機関等との連携による新たな事業展開の検討 ○社会教育施策の実施において、事業の評価・見直しを重ね、住民ニーズにあった事業の活性化の推進		◆大町市科学振興会を組織し、企業からの寄付をいただきながら、市内小中学校児童生徒の夏休みの一研究へ賞を授与している。今後はその他の連携についても検討が必要である。 ◆地域と連携した学校ボランティアに参画し、参加者自らも学習し生き甲斐が持てる活動を推進する必要がある。 ◆運動会、球技大会、探索ハイク、ふれあいまつりなどで元気アップ運動を今後も取り入れ、地域事業としてさらに推進する必要がある。	B (H25:C)
市政学習の推進	○社会教育の一環としての市政学習の推進 ○市民の市政に対する関心度と意識の高揚 ○あらゆる機会を通じた市政に関する学習会の開催 ◆市職員出張講座の充実と情報提供		◆職員の出張講座は、メニューの見直しを行いながら、メニュー以外の内容についても関係課と調整し要望にお応えしている。	B

男女共同参画社会づくり	○平等意識の醸成と男女共同参画づくりの推進	生涯学習課	<p>◆男女共同参画学習会「非常食づくり」など身近なことから共に生きる社会を実現できるよう推進。</p> <p>◆人権を考える市民の集いは、6地区で開催しているが公民館だけの開催から学校との合同開催をする地区が増えたことにより地域と学校との連携が深まり意識の啓発が促進した。</p>	A (H25:B)
		企画財政課	男女がともに、個々の生き方、能力、適性を考え、固定的な性別役割分担にとらわれずに、主体的に進路を選択する能力や態度を身につけるよう推進する。	C (H25:B)

【公民館事業の充実と活性化】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
公民館事業の充実	○社会や地域の要請に適合したより質の高い公民館事業の展開	生涯学習課	<p>◆アンケートにより要望把握し講座等を実施している。趣味的な講座の参加者は多いが、地域課題などをテーマにした教育講座などは関心が薄く実施できない。</p> <p>◆アンケートにより要望を把握し講座等を実施しているが、各地区で同じ講座が開催されているため独自性を求めるのが難しい。また、学習的な講座を開講したとしても、関心が薄く、特に若者の参加者が少ない。</p> <p>◆八坂地区市民運動会をはじめ、文化祭、子育て学級、高齢者学級、八坂塾等各学級講座を実施した。山村留学を行っている育てる会と連携し、通学合宿や登</p>	B

		<p>山を実施した。他の公民館でも同様の講座を開催しているため、重複しない講座を企画する必要がある。</p> <p>◆地域と連携した学校づくりをさらに推進する必要がある。</p> <p>◆運動会、球技大会、探索ハイク、ふれあいまつりなどで元気アップ運動を今後取り入れ、地域事業としてさらに推進する必要がある。</p> <p>◆文化祭、運動会、球技大会の開催・各種講座の開設。</p>	
<p>自主的な活動の促進</p>	<p>◆自主的に活動する団体の育成・支援と人材の育成 ○学習機会や場の提供</p>	<p>◆公民館講座からはじまる活動など、さまざま自主サークルが増えている。</p> <p>◆体操などは自主サークルの立ち上げへと進むけれど、他はあまりサークルへ移行されていない。</p> <p>◆いつでも、どこでも、だれでも自由に学習できる場の提供さらに推進する。</p> <p>◆録利用団体の自主的活動の支援</p> <p>◆子ども会育成事業を通して子どもの成長と単位育成会の活動のリーダーの育成を図る。</p>	<p>B</p>
<p>地域コミュニティへの支援</p>	<p>○分館活動の支援と地域の一体感を醸成する取り組みの強化</p>	<p>◆地域内のコミュニティを促進のため、分館活動の取り組みを支援しているが、年々、活動が縮小している。</p> <p>◆地域内のコミュニティを促進する為に支援する体制はあるが、活用される地区は少ない。</p> <p>◆各分館に活動助成金を交付している。</p> <p>◆地域防災マップづくりなど地域社協と連携して分館活動の活性化を今後とも図っていく必要がある。</p>	<p>B</p>

		◆分館事業補助金の交付や分館が実施する事業の講師謝礼等の補助。	
--	--	---------------------------------	--

【図書館活動と読書活動の推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
図書館サービスの拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>○誰もが利用しやすい図書館サービスの拡充</li> <li>◆図書館資料の充実と所蔵資料の広報</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成24年度より祝日開館を実施。大活字本、大型絵本の購入や学校図書館司書からの要望が強かった実用書等を購入し、大幅な拡充が実現できた。毎月、広報おおまちに「図書館だより」を掲載し、新着図書の紹介を行った。</li> <li>◆利用者のニーズに応えられるよう今後も対応していく。</li> </ul>	B
読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者・障がい者の読書活動の推進</li> <li>◆大町市子ども読書活動推進計画の実施</li> <li>○読み聞かせ活動等の読書活動の推進</li> </ul>	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆図書館に来られない人のために、高齢者施設等を訪問し、読み聞かせや紙芝居、パネルシアターの実演や大活字本の紹介を通じて、施設への団体貸出しを行った。</li> <li>市内朗読グループから点字図書やデジジー図書の寄贈をいただくなど読書活動を行っている。</li> <li>大町市子ども読書活動推進計画においては、折り紙教室や読み聞かせを毎週日曜日に開催している。また、毎月定期的に開催している「おはなしの森」や「おいでえほんのおへや」は、市内の読書ボランティアサークルの皆さんにより事業を行っていただいている。</li> <li>県立図書館や関係機関が主催する読み聞かせ講座の開催時には、市内の読書ボランティアサークルの皆さんに情報提</li> </ul>	A (H25:B)

			<p>供し、受講を進めているが、参加者が少ない状況であるので、図書館職員を含め、積極的に参加する必要がある。</p> <p>◆高齢者学級で大きな活字等の本の紹介を今後も実施する。</p> <p>◆パンダクラブ・児童クラブなどおして今後も読書活動を推進する。</p>	
<p>教育・文化施設やボランティアとの連携</p>	<p>○資料修理ボランティアの養成と活用</p> <p>○学校図書館、公民館、博物館等との連携の強化</p>		<p>県立図書館やブックメーカー等が開催する資料修理の講座があれば参加したいが、平成25年度においては、開催されなかった。現在、当館においては、2名の方にボランティアで修理に来ていただいているが、新たに修理していただく方や図書館職員の修理技術の向上のために、スキルアップ講座等に積極的に参加する必要がある。</p> <p>図書館と市内の学校図書館司書で、児童・生徒に本に親しんでもらうよう図書館への要望等を聞く意見交換会を開催した。今後も定期的を開催していく。</p> <p>八坂、美麻公民館の利用者数が増えるようサービスの向上や蔵書数の増加等を検討する必要がある。</p> <p>山岳博物館が蔵書している専門的な資料が図書館でも検索できるよう検討していく必要がある。</p>	<p>B</p>

【教育関係機関との連携】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
<p>民間の社会教育施設の活用促進</p>	<p>○市内の博物館をはじめ民間の教育機能を有する施設との連携と協力、市民の学習活動への活用促進</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>◆事業開催において、民間企業や市内博物館を会場としながら開催しているが、</p>	<p>B (H25:C)</p>

			より連携した展開が必要である。 ◆高齢者学級、幼児教室、総合学習など講師派遣、施設利用を今後とも推進する。	
大学・研究機関等との 関係	○大学・研究機関との連携による社会教育の充実	生涯学習課	◆図書館では信大図書館との連携が行われているが、その他の連携は行われていない状況である。 ◆学校関係での連携さらに推進するとともに、高齢者学級でも連携を図る必要がある。	C
		山岳博物館	◆信州大学と鹿島槍ヶ岳カクネ里雪渓(氷河)学術総合調査の協同研究体制についての検討が行われ、平成26年度からの実施が可能となった。 ◆信州大学との共同により、小中学校の理数系中核教員の育成を目指すため、現職教員のスキルアップのためのプログラムや教材の作製をすすめ、成果は信州大学のホームページに掲載した。	A (H25:B)

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H25 数値	課題等
公民館利用者数	96,311 人	106,000 人	生涯学習課	103,712 人	
公民館講座等開催数	647 回	650 回	生涯学習課	343 回	
公民館講座等受講者数	9,745 人	10,700 人	生涯学習課	6,455 人	
図書館の年間貸出冊数	197,780 冊	200,000 冊	生涯学習課	150,395 冊	平成24年度の実績である147,076冊と比較すると、貸出冊数は減少している状況である。市中人口の減少や娯楽・情報源の多様化などにより、読書人口は減少傾向にあるが、利用者1人あたりの貸出冊数は増えている。読書

					活動の推進等、積極的な取り組みを今後更に行っていく。
図書館の蔵書数	121,329冊	145,000冊	生涯学習課	124,973冊	平成24年度の実績である119,667冊と比較すると、蔵書数は増加している状況である。利用者によって、本のニーズが異なるため、要求に応えつつ分野が偏らないよう購入していく。
図書館の来館者数	46,992人	50,000人	生涯学習課	40,908人	平成24年度の実績である42,803人と比較すると、来館者数は減少している状況である。人口の減少や中高生の活字離れ、利用者の高齢化により、読書活動全体が低下傾向にあるため、読み聞かせ活動や季節ごとに開催するイベントの拡充等を行い、来館者数の増加に努めていく。

 市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
公民館活動に満足していると思う市民の割合	75.6%	80.0%

## ◇ 施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名(予算書)	担当課
—	110432	大町公民館一般経費	生涯学習課
—	110433	大町公民館活動経費	生涯学習課
—	110434	平公民館一般経費	生涯学習課
—	110435	平公民館活動経費	生涯学習課
—	110436	常盤公民館一般経費	生涯学習課
—	110437	常盤公民館活動経費	生涯学習課
—	110438	社公民館一般経費	生涯学習課
—	110439	社公民館活動経費	生涯学習課
—	1104310	八坂公民館一般経費	生涯学習課

—	1104311	八坂公民館活動費	生涯学習課
—	1104312	美麻公民館一般経費	生涯学習課
—	1104313	美麻公民館活動経費	生涯学習課
図書資料購入事業	110443	図書資料購入事業	生涯学習課
図書館施設整備事業	110442	図書館管理運営一般経費	生涯学習課
山岳博物館教育事業	110613	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館
—	110614	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館
動植物飼育栽培繁殖事業	110616	動植物飼育栽培繁殖事業	山岳博物館

施策目標6 元気あふれる市民スポーツの振興

幼児期からの運動習慣は、大人になってからの身体活動に大きく影響することから、遊びを通じて運動習慣を身につけることが必要です。また、青年期から高齢者に至るまで、生涯学習としてのスポーツ活動は、生活習慣病の予防をはじめ、日常生活における心身の健康や仲間づくりなどにおいても有効です。

体力や年齢に応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ教室や体力づくりの機会の充実、各種スポーツ大会の誘致や交流大会の開催により、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を図ります。また、老朽化した体育施設の整備充実を進めます。

【生涯スポーツの推進】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
健康、体力づくりの推進	○体力や年齢、目的に応じたスポーツ活動による健康、体力づくりができる機会と場所の提供	体 育 課	運動あそび教室、ママさんフリータイム、ピラティス教室、健康づくりサークル等子どもから大人まで各年代に合わせた教室を実施	A
スポーツグループの育成	○定期的、継続的に活動するスポーツグループの育成と支援		総合型スポーツクラブの育成を進めているが、組織体制の整備及び人員の確保が難しい状況	C
スポーツに親しむ機会の充実	○各種スポーツ教室の開催 ○誰もが気軽に参加できる新しいスポーツの導入と普及		スポーツ推進員を中心に、各種スポーツ教室を開催するとともに、ワンバウンドふらばーるバレー教室・大会等を開催するなど、ニュースポーツの普及を図っている。	A

【スポーツ団体の育成強化と競技技術の向上】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
組織の育成と技術力の向上	○体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブ、スポーツ指導委員会等との連携による各種スポーツ団体の組織強化と技術力の向上の促進	体 育 課	少子高齢社会の進展により競技年齢の高齢化や、スポーツをしない子どもたち増加など、体育協会、スポーツ少年団等の組織力が低下している。財政支援を含めて強化策が必要。	C

指導力の強化	○スポーツ指導者の指導力の育成と指導力の強化及び一貫した指導体制確立への支援	指導者の確保が困難な状況であり、指導者の養成や資質向上が課題となっている。スポーツ推進員の役割がより重要となっている。	B
スポーツ大会の開催と交流の促進	○各種スポーツ大会・交流会の開催と誘致の推進	市民スポーツ祭やスポーツ教室などのほか、県、全国レベルの大会を誘致。また、復興支援サッカー大会の開催や、JFAの選手等が「夢先生」となる「こころのプロジェクト夢の教室」を開催	A

【体育施設の整備・改修】

具体的な施策	内 容	担当課	取り組みの状況・課題等	進捗状況
体育施設の充実	○老朽施設の整備・改修、設備・備品等の充実 ○体育施設に対するニーズの把握	体 育 課	体育施設の整備・充実に図りながら市民体育の向上のほか、誘客向けにも活用しているが、施設・設備の多くが老朽化により改修や更新が必要となっている。利用者のニーズや利便性を考慮した施設整備を図るとともに、維持管理費用の低減のため、施設の統廃合等も検討する必要がある。	B
体育施設の有効活用	○大学・企業等のチームの合宿誘致等による体育施設の有効活用		施設の有効活用を図るため、また、スポーツ振興を図るためスポーツ合宿等の誘致を進めている。特に大学の合宿は、時期が重なるため、十分な受け入れができない状況	B

▼数値目標

目 標 項 目	基準値	目標値	担当課	H25 数値	課題等
体育施設利用者数	309,883 人	320,000 人	体 育 課	284,339 人	競技人口の減
スポーツ教室参加者数	3,301 人	3,500 人	体 育 課	3,081 人	ニュースポーツなど魅力的な教室
スポーツ大会参加者数	12,496 人	13,000 人	体 育 課	8,830 人	競技人口の減

					市民への広報、情報提供
--	--	--	--	--	-------------

 市民意識調査

調査項目	基準値	目標値
スポーツの振興について満足していると思う市民の割合	72.0%	80.0%

 施策に係る対象事業

実施計画名	事務事業No.	事業名（予算書）	担当課
JFAこころのプロジェクト「夢の教室」	110512	体育振興一般経費	体育課
体育施設芝管理事業	110521	体育施設維持管理事業	体育課
平運動場照明増設事業	110522	体育施設整備事業	体育課
運動公園野球場改修整備事業	110522	体育施設整備事業	体育課